

災害対応用具チェックリスト

- 被災時において緊急支援が到着するまでに必要となる防災用具の整備状況は以下のとおりである。(不足している用具については是非とも購入しておくことが望ましい。また、会社が供給すべき防災用具について従業員と検討し、以下に挙げた用具以外にも必要と思われる防災用具がある場合は、併せて準備を検討すること。)

従業員分の水(飲料用と生活用のためには、一人当たり一日3リットルが目安)	
従業員分の食物(非腐敗性食品を少なくとも3日間分)	
缶切及び紙製(またはプラスチック製)食器	
カセットコンロ及びガスボンベ	
ラジオ(乾電池型、手巻充電型)と予備乾電池	
懐中電燈と予備乾電池	
救急箱	
笛(救助を求めるためのもの)	
作業用防具類(ヘルメット、防塵マスク、アイガード、作業用手袋など)	
衛生用具類(ウェットティッシュ、トイレトペーパーなど)	
工具類(ペンチ、ハンマー、遮断レンチ、シャベル、てこ用棒など)	
文具類(鉛筆、マジックペン(数色)、ノートなど)	
蓋付きポリバケツ、ゴミ袋、ほうき	
ビニールシート及びテープ(部屋を閉じるため)	
ブルーシート	
簡易トイレ製品(または、トイレ用ビニール袋及びビニールテープ)	
カメラ、フィルム、予備乾電池(損害を記録するため。使い捨てカメラでもOK)	
毛布(可能ならば、簡易ベッドやマットなどもあるとよい)	
現金(電話用の小銭も含む)、キャッシュカード、クレジットカード(停電により、ATMが利用不可な状況などに備えるため)	
連絡先リスト(従業員、警察、消防等の公益事業会社などの緊急サービスなど)	
事業継続のための活動項目リスト	
地図、ビル内フロアマップ	
拡声器	